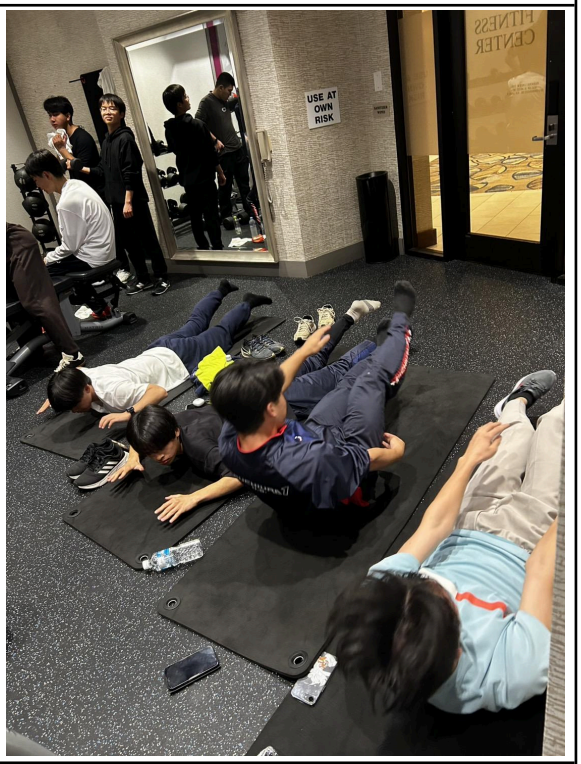
SEG記録【第2日目 2026年3月16日(月)】 担当：プレゼン2班

時間	コメント	写真
7:00 （US）	昨日の長時間移動の疲れや時差ボケもあってか、朝は皆疲れているように見えた。まさかのワシントン初日の朝から朝食の集合時間に遅刻してしまうという強者も現れた。体を慣れさせつつも気を引き締めて今後の研修に臨んでいきたい。 肝心の朝食だが、さすがアメリカと言わんばかりのヘビー級ながらもデリシャスなフードだった。個人的にはベーコンのスモークと塩味が強く、好みの味ということもあり、朝から少しばかりご飯を欲張ってしまい、軽い食トレをしてしまった。これからのアメリカでどれだけ体重が増えてしまうかを考えると先が思いやられるが、健康管理を大切にしていきたいと思う。	
9:00	世界銀行に到着。クラシカルな印象とは裏腹に近代的な雰囲気のビルだった。周りには日本では見ないような様式の建物が多く並んでいた。飛行機の保安検査に相当するような手荷物検査を受け、無事に全員がIDを受け取ることができた。建物内は吹き抜けの高い天井、水の流れる音が聞こえ、そのどれもが新鮮に感じられた。 本校OBの王さん（高59）に企画していただいたプログラムのもと、勤務する日本人の方々から「日本と世界銀行」や「職員の仕事」についてのプレゼンを拝聴し、活発な質疑応答が行われた。 また、同じく本校OBで、現在はJAXA所属の宇宙飛行士として活躍が期待されている諏訪さん（高47）からは、母校の後輩である私たちに向けて熱いメッセージを寄せていただき、私たちの質問にも丁寧に答えてくださった。自身が追いかけてきた夢を熱く語る姿には圧倒される思いがし、これからの自分の生き方を考える大きなきっかけとなった。 その後、日本人職員の方を交えたグループディスカッションを行ったが、話をしてくれたみなさんが「好きなことをするのが大切」と口	

	を揃えておっしゃっていたので、私もこれから自分が好きなことが何かを探していこうと思う。	
12:30	ランチの時間。様々な国の料理があり、何を食べようかとワクワクした。システムがよく分からなかったが、重さによって値段が決まるらしい。1口食べた感想は「味が濃い」、私だけでなく周りもそう言っていた。これが国際的な水準なのだろうか。慣れない私たちはというと、水を取りに行く人が続出していた。ただ、私が最も印象的だったのは、トイレに行く道中にある鳥の像がとても怖かったことだ。	
15:00	当初は日本大使館を訪問して直接お話を伺う予定であったが、暴風雨の予報により政府機関が閉鎖され、急遽訪問が中止となってしまった。みんな世界銀行での研修を通して、かなりモチベーションが上がっていたため、悲しんでいる人も多かった。日本大使館での研修は完全に中止になってしまうかと思ったが、先生方との交渉により大使館の教育担当の方とリモートをつなぎ、各々がホテルの自室で話を聞くことができた。 研修では、日本大使館の役割や業務内容、外務省の仕組みや実際に行っているプロジェクト、日本大使館がアメリカとの関係を支えるためにどのようなことを大切にしているのかなどを詳しく知ることができた。生徒からの質問にも一つひとつ丁寧に答えていただき、ただ調べるだけでは知ることができないような、世界を舞台に働くことへの心持ちなどについても知ることができる貴重な時間だった。当初の予定とは異なってしまったが、世界銀行での研修に続き、国際社会での日本の役割や、世界を舞台に働くことについての理解をさらに深めることができた。	

16:40	日本大使館の研修が終わり、雨が落ち着いた中、バスでレストランへ移動。今日はハードスケジュールだったので、移動中に寝ている人もちらほらいた。 今日の夕食は中華（四川）料理。この店はかなり有名なところだそうで、安倍元総理もワシントンD.C.を訪れていた際、必ず立ち寄っていたとか。 レストランに到着し、円卓に出された料理は麻婆豆腐や青椒肉絲など美味しそうな料理の品々。スパイスが効いた味付けだったため、デザートの杏仁豆腐の甘さで辛さを和らげる人もいた。白米もでたが、日本人の私はやはり日本の米が恋しくなった。そして何よりボリュームたっぷりの料理であり、お腹いっぱい食べることができたが、フードロスも出してしまった。SDGsを考えると心苦しい気持ちにもなった。	
19:30	夕食後、ホテルに戻ると、ホテル内にあるジムには多くの一高生の姿が。長旅でなまった体を奮い立たせられるよう、みんな頑張っていた。